

# 大仏様を心の師として安心の人生を

## 東大寺唯心会

### 東大寺唯心会の設立

日本の環境保全維持と心の保護を目的に環境経済研究センターを開設した船後正道氏（元環境事務次官）、西浦保氏（元日本税理士政治連盟会長・元近畿税理士会会長）、北河原公典師（第210世東大寺別当・元全日本仏教会副会長）、小林喬氏（元奈良県議会議員）、松本功氏（元西奈良中央病院理事長）、篠原猛氏（当時環境経済研究センター専務理事）とわずか6名の有志から今の東大寺唯心会が始まりました。

日本の宗教（仏教）を通じ、心のあらゆるユートピアを目指し、行政の精神環境分析から宗教（仏教・仏）の心の在り方について習



節分会 会員結縁親睦会

得すべきためであります。

その先陣を切って頂いたのが、北河原公典猊下でございます。

昭和52年本山塔頭会議において大仏様信奉団体として公認を頂き、東大寺からは別当・長老が顧問に、執事長・教学執事が相談役にご就任頂き、ご指導を頂くこととなり、爾来今日に至ります。

### 主な事業

#### 1、心の掃除

月例・大仏殿朝参奉仕会（早朝の境内清掃奉仕、参拝、法話聴講、朝食会）第435回挙行

#### 2、心の交流会

総会懇親会、会員結縁親睦交流会（年忘れ、節分等）、研修旅行会、写経仏会他定例開催

#### 3、洗心

〔東大寺諸行事・法要特別参列〕  
ご本尊お身拭い、解除会、修正会参列会、二月堂節分会参加、



第43回定時総会

修二会参籠会 他特別参列

#### 4、心の奉仕

NHK 歳末助け合い・海外助け合い協力献金（第44回）  
東日本大震災・熊本大地震復興支援、社会福祉施設慰問チャリティバザー協力  
大仏殿並びに近鉄奈良駅前行基尊像年中供花44年継続

#### 5、育心

青年部会、婦人部会、東京・大阪支部活動

#### 6、永代供養

会員物故者御霊、過去帳謹載（東大寺持仏堂安置）  
本山にて永代供養頂きます（秋に慰霊祭開催）

### 安心な人生とは何か

現在我が国は、コロナ禍による財政危機、経済の先行き不透明さ、少子高齢化の進行、未曾有の自然災害の勃発と原発問題などの社会不安、国外では近隣諸国との領土問題、またユーロ圏、中東地域における国際社会の不協和音等、まさに内憂外患の混迷・混乱の時代に入っております。

そういう時こそ、我々国民は何を頼りにし、何を生活・心の糧にしてこの混迷の時代を力強く生き抜いていくかを選択する重要な岐路に立たされているように思われます。

そのためには我々は先ず心の安定をはかり、世の中の真実（本当の姿）、人生の心理とは何たるものか、いち早く感（体）得することによって、折角賜った貴重な生命（いのち）、人生をいかに充実して悔いなく、終の住処（ついのすみか）まで全うして行けるかが、肝心かと存じます。

東大寺唯心会ではその答えを華厳経典（お釈迦様のことば）に求め、約1300年の歴史と伝統を誇られる国家鎮護の御寺・大本山東大寺に師事し、修二会（「お水取り」令和3年で1270回を数える不退の行法）をはじめ、本山伝統行

事に奉仕することによって脈々と受け継がれてきた「法灯・時空を超えた不偏の真理」にふれる、唯一無二の機会を得ることができると共に、もって自己開眼への道が示されます。

華厳経の教理には、『一即一切・一切即一』（ひとつは全ての中に、全てはひとつの中に見ることができ、人に例えるとあなたがいるので私がいて、私がいるからあなたがいますと、「共に存在を認め、満たし合う」という世界観）の教えがあります。

広く社会を見るとき、幸せは個人だけの問題ではなく、地球全体を見るとき、幸せは人類のものだけではないとわかります。

東大寺が創建されました時代は、現代のコロナ禍の状況と似た部分がございますが、当時政治的に不安定な状況が続き、天然痘が蔓延していました。その中で聖武天皇は、「盧舎那大仏造立の詔」を発せられますが、この詔の中で「天皇が有している権力や富を使って大仏を造るだけでは、形だけで心が伴わない。自発的に大仏造立に協力しようと思う者があれば、皆で一緒に盧舎那仏を造る



秋季合同慰霊祭

う」と述べられ、広く国民に結縁を求められました。つまりあらゆる存在はお互いに支え合っていること、動物も植物も人間もお互いに命を大切に思いながら助け合うことを、国民に伝えるためございました。まさに教理に説かれます『共生の理念』の具現であります。

人には真剣に自己を見つめる時が、一生に一度必ずあるといわれます。そんな時、絶対に手を伸ばし、草の根をかきわけても求めなければならぬもの『仏教＝人格を完成するための教え』だと信じます。その先に日本の世界の未来を担う皆様方の安心の人生があるのではないのでしょうか。

東大寺唯心会  
専務理事 篠原 大



年末助け合い募金寄託



いにしへの道散策会



朝参奉仕会